

平成26年第2回定例会

一般質問

～ 通告書順 ～

日付	順 番	議 員 名	党 名
6 月 25 日	1	緑 川 栄 一	無 所 属
	2	佐 川 勇 司	無 所 属
	3	佐 藤 弘 信	無 所 属
	4	高 木 節 男	無 所 属
	5	岡 部 淳 一	日本共産党
	6	佐 藤 一 夫	無 所 属
	7	木 戸 久 康	無 所 属

古 殿 町 議 会

順序	質問者	質問事項	要 旨
1	1 番 緑川 栄一	1. 古殿町民第一体育館 の改築は。 (答弁者：町 長)	(1) 現在使用している団体数及び、年間使用人数は。 (2) 安全基準の確認は。 (3) 定期的な安全チェックは行われているか。 (4) 改築に計画における問題点は。
2	4 番 佐川 勇司	1. 町防災計画について (答弁者：町 長)	(1) 地域防災計画の見直しは、どのような点か。 (2) この計画の取り組み経過はどうか。 (3) 町民への具体的周知の考えはあるか。 (4) 各地区において緊急ヘリポート基地の確保状況はどうか。 (5) ゲリラ豪雨や土砂災害等に対しての各地域住民避難の具体化周知はどのようなか。
		2. 河川堆砂整備について (答弁者：町 長)	(1) 昨年、住宅や農耕地において大雨洪水被害状況は。 (2) 農耕地用排水、今後の対応は。 (3) 県管理の河川堆砂処理整備は早急な対策ですが、この件について、協議は、なされているか。
3	3 番 佐藤 弘信	1. 空き家・廃屋の現状 と今後の対策について (答弁者：町 長)	(1) 町は、町内の空き家を調査したようですが、どのような結果が得られたか。 (2) 空き家・廃屋に対して町民から相談等があったのか。 (3) 廃屋の地域に及ぼす影響はどのようにとらえているか。 (4) 廃屋の撤去が進まない要因に税制の問題も取り上げられています。住宅用家屋について固定資産税の低減措置があります。通常建物の課税は本来の1/3、200㎡までは本来の1/6と軽減されており、管理放棄を助長しているのではないかと思われるがどう考えるか。 (5) 全国の自治体で「空き家等の適正管理に対する条例」を制定・施行され、住民からの情報提供があれば所有者に助言・指導・勧告を行うことができるようにして、効果をあげている自治体もあります。町としての考え方を伺います。 (6) 建築基準法では所有者に対して、適法な状態に維持するよう努力義務を果たしています。特定行政庁は、所定の手続きを踏んだ上で「著しく保安上危険であり、または著しく衛生上有害であると認める場合」所有者に対して住居を含めた適正な措置をとるように勧告・命令することが出来ると定めています。この法に照らし合わせた対処はどのように考えるか。
順序	質問者		要 旨

		質問事項	
			<p>(7) 国に於いても空き家・廃屋の重要性の認識から、今国会に「空き家等対策の推進に関する特別措置法案」を提出すると聞いております。ポイントとして空き家の情報収集・特定空き家に対する措置ということで、特定空き家に対する撤去・修繕・立木伐採などの措置に指導・助言・勧告・命令の権限が盛り込まれるようです。反面、空き家対策への費用補助、税制上の措置も講じるようです。</p> <p>このような流れに対してどのような考え方を持つか伺います。</p>
4	5番 高木 節男	<p>1. 人口減少対策について</p> <p>(答弁者：町 長)</p>	<p>(1) わが町の出生率はどのくらいなのか。</p> <p>(2) 企業誘致の取り組み状況と今後の展望は。</p> <p>(3) 空き家の対策の現状と対応策は。</p> <p>(4) 愛宕団地跡地整備計画は中心街区で利便性が高い場所として計画されているが、中心街や町の商業などの今後の展望と対応策は。</p> <p>(5) 定住人口と交流人口の展望と対応策は。</p> <p>(6) 人口減少が想定される中での自治体としてのビジョンは。</p>
5	7番 岡部 淳一	<p>1. いわき石川線交通止めによる古殿町の現状と今後の対応</p> <p>(答弁者：町 長)</p>	<p>(1) 現状での交通止め解除の見通しは。</p> <p>(2) 災害復旧とは別に安心安全な恒久的道路改良についてはどこまでの話がなされているのか。</p> <p>(3) 対策の一つとして回路の改良整備について多くの意見が寄せられているが、その点についての見通しはあるか。</p> <p>(4) 今度の法面崩落による物流の一部停止は町の経済に大きな損失を与えているが、把握はしているのか。</p>
		<p>2. 中山間地事業の取り組み及び河川管理等の問題</p> <p>(答弁者：町 長)</p>	<p>(1) 現在進行している中山間地事業は何か。</p> <p>(2) 大まかな年度別進行工程及び完了の見通しは。</p> <p>(3) 大雨などによる鮫川河川沿い越水箇所への対応は。</p> <p>(4) 河川管理道の改良を計画している箇所があるのか。</p> <p>(5) 河川沿いに植栽されている桜並木、今後の展望は。</p>
		<p>3. 震災と原発事故による町への影響と取り組みは</p> <p>(答弁者：町 長)</p>	<p>(1) 今年度に繰り越された仮置場への搬入状況は。</p> <p>(2) 除染計画に対しての現状での対応は。</p> <p>(3) 町としての賠償の現状及び町民からの賠償などの相談は。</p> <p>(4) 避難計画の捉え方と町としての具体的な対応策は。</p>

順序	質問者	質問事項	要 旨
5	7番 岡部 淳一	4. 議会直前に開かれた 全員協議会の意味合い は (答弁者：町 長)	(1) 昨年の9月から今日に至る経過をどう捉えているのか。 (2) 3月議会で突然の訂正請求の真意は何か。 (3) 全員協議会での町長発言はこれまでの議論を熟慮したものと思うが、議員の意見は反映されたのか。 (4) 協議会を開いた結果をどう考えているのか。
6	11番 佐藤 一夫	1. 介護施設の入所待機 者解消に向けた取組みは (答弁者：町 長)	(1) 入所待機者の実態と解決に向けた取組みは。 (2) 町が所有する建物および土地などを利用し、解消に向け増床または独自の施設開所などの考えはどうか。また、介護事業者参入の働きかけや支援等についての見解は。
7	8番 木戸 久康	1. 公民館改修と第一体 育館改築の考えは (答弁者：町長・教育長)	(1) なぜ、当初予算に計上しておきながら削除したのか。 (2) 3ヶ月しか経っていない今、この件について全員協議会を開いて説明をしたのか。